
第3回島津由乃の人生相談室

紅い稲妻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第3回島津由乃の人生相談室

【Nコード】

N9038I

【作者名】

紅い稲妻

【あらすじ】

前回同様に由乃が主役のコメディです。

益々パワーアップした由乃の暴走振りを堪能して頂けたら幸いです。

マツケンサンバの曲に乗せて、今日も島津由乃の人生相談室が始まる。

あれだけいじられながら、ええ加減にしたら良いのに、懲りずに由乃は今日もミニFM局にやって来るのだから、マゾ疑惑が浮上しても仕方がない。

勿論、本人は強く否定している。

それでもって放送が始まった。

「もしもし」

「もしもし、PNは73です」

と聞いて由乃は電話を切る。

「ちょっと由乃さん、私が電話したら、何か都合が悪い事でもあるの？」

真美が聞く。

「とても悩みがあるように見えなかったけど」

「それって、まるで私が脳天気みたいに聞こえるのけれど…？」

「違ったの？」

「…」

「…」

「祥子さまに頼んで、偵察衛星で24時間由乃さんを監視するわよ」

「んなもん、祥子さまはしないわよ」

「ん、簡単よ。現紅薔薇さまのあゝんな写真とか、こゝんな写真を提供すればノープロよ」

すると、すかさず、

「ごきげんよう、由乃ちゃん、真美さん、お話し中で悪いんだけど、祐巳のあゝんな写真や、こゝんな写真がホントにあるの？」

無理矢理回線に割り込んで来た先代紅薔薇さまの小笠原祥子が聞いてきた！

「今はまだですが、手に入れば、すぐにでも喜んでお伺に参ります！」

さすがは祥子さま、祐巳さん絡みだと、うかつな行動はできない。由乃と真美はそう思った。

「そう、嬉しいわ。楽しみにしてるから、よろしくね。真美さん、では、ごきげんよう」

「「ご、ごきげんよう」」

二人は冷や汗を流した。

ここからは由乃と真美の心の会話である。

どうすんのよ！

嘘なんか言つて！

私の親友なんだから、泣かす真似するんじゃないわよ！

と由乃が送ると、

仕方ないでしょう！

相手はあの祥子さまよ！

私達が束になっても勝てる訳ないでしょう！

やってやるわよ！

私はかの築山三奈子の妹よ！

ええ、やってやる！

見てて下さいね。

お姉さま、必ずやこのミッションを達成して見せます！

まるで二人は、どっかのロボットアニメのような会話をする。

まるでア○ロとラ○アの会話のようにだ。

さすがの小笠原特務機関も知る術を知らない。

但し、小笠原関係者でニュータイプがいれば話は違ってくるが、現状のところ確認できていない。

「でね、話はそれだけど、実は日出美の事なんだけど…」

ホウ、意外とまともそうな相談じゃあない。

由乃は感心する。

「最近、新しくできた妹候補に夢中で、仕事は雑になるし、私の事

お節介は紅薔薇の伝統だ。

祥子とて例外ではない。

「祥子さま！人の番組を勝手に盗らないで下さい！」

由乃が抗議するが、音声が電波に乗らないでいた。

菜々が困った顔で両手を上げていた。

どうやら電波ジャックされたようだ。

さすがは小笠原特務機関、抜かりはない。

「じゃあ、由乃ちゃん、話はついたから、お後はよろしくね」

祥子が高笑いしながらフェーズアウトすると、

「止めてやる。何が何でも阻止してやる」

と言い、菜々を見ると、

「菜々、良いわね」

「勿論ですとも、お姉さま」

「これにて本日の番組は終わります。祥子さま、真美さん、私の親友は私が守って見せます！行くわよ！菜々！」

「ハッ、お供致しまする！」

黄薔薇姉妹はスタジオを飛び出し、新しいアドベンチャーへ出かけて行った。

勇者島津由乃とその子分有馬菜々の新しい冒険が今始まるうとしていた。

イケイケ由乃！

頑張れ由乃！

例えば世界中が敵になったとしても、令と菜々？だけは味方でいけるさ？

多分…。

続くのか？

新しいアドベンチャーが続くかどうかは、作者にも解らない？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9038i/>

第3回島津由乃の人生相談室

2010年10月20日18時56分発行